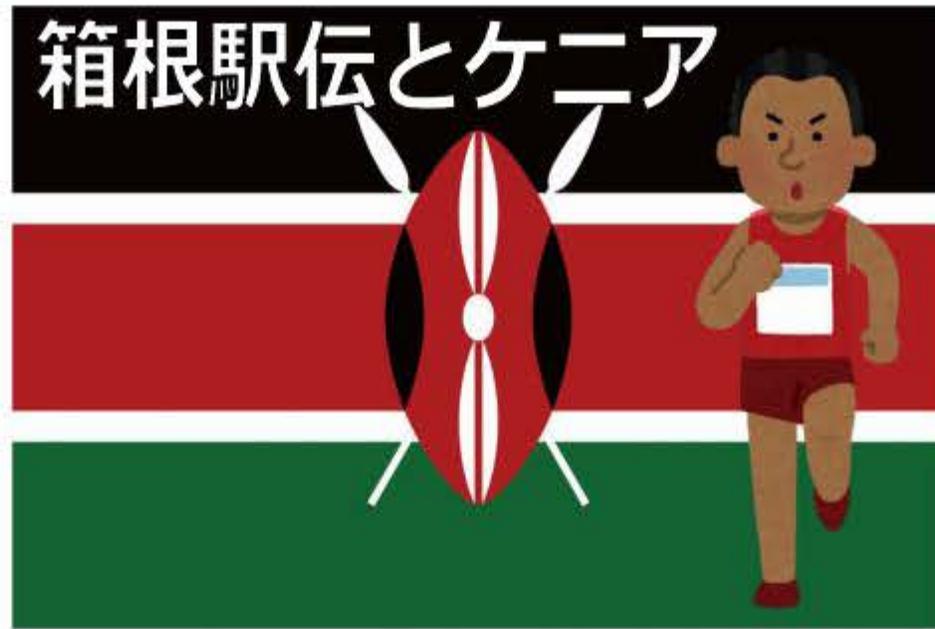


箱根駅伝とケニア

2020年01月06日



年末年始の恒例行事といえば、いろいろありますが、箱根駅伝を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。正式名称は「東京箱根間往復大学駅伝競走」といい、毎年1月2日と3日に行われる大学駅伝の競技会です。関東学生陸上競技連盟が主催の地方大会ですが、テレビ中継の影響もあり、全国的に注目される大会です。

毎年、東京の大手町から箱根の芦ノ湖までの往復にさまざまなドラマが生まれる大会ですが、ケニア出身の選手の活躍も見どころのひとつですね。

96回目となった2020年も、合計5人のケニア出身の選手が箱根路を駆け抜けました。なかでも、東京国際大学の3区を走ったイエゴン・ヴィンセント選手（1年生）は59分25秒という区間新記録を打ち立てました。

今では、珍しくなくなったケニア出身選手の箱根駅伝での活躍ですが、ケニア出身の選手が箱根駅伝に初めて登場したのは、1989年の第65回大会。

山梨学院大学のジョセフ・オツオリ選手が出場しました。

では、1993年の第69回大会に山梨学院大学の2区として出場した選手をご存知ですか？

正解は、ステファン・マヤカ選手です。区間賞となる快走でした。

TBS「オールスター感謝祭」の赤坂5丁目ミニ駅伝に、エリック・ワイナイナ選手と参加するなど、テレビで見たことがある人もいらっしゃるかもしれませんね。

現在は、日本国籍を取得し、真也加ステファンさんとして、桜美林大学の陸上競技部駅伝監督をされています。

その真也加ステファンさんが、久留米市にやってきます！

詳細は、またお知らせしますが、2月に来る予定です。

お楽しみに！

Many people think of Hakone Ekiden of the annual New Year's events. Every year, various dramas are born on the round trip from Ote-machi in Tokyo to Lake Ashi in Hakone, and one of the highlights the performance of Kenyan students.

Stephen Mayaka ran the 69th Hakone Ekiden in 1993 as a 2nd word runner of Yamanashi-Gakuin University. He won very fast and won the section prize.

Now he acquired Japanes Nationality, and works for Obirin University as Ekiden-director of track and field club. He is visiting Kurume in February. We will tell you the detail later.

Please look forward to it!